

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第7回 豊島区保健福祉審議会
事務局(担当課)		保健福祉部 福祉総務課
開催日時		令和6年3月5日(火) 18時30分～19時27分
開催場所		豊島区役所本庁舎 5階 510会議室+オンライン
議 題		1. 開会 2. 議事 (1) パブリックコメント結果の報告及び計画素案の見直しについて (2) 豊島区地域保健福祉計画(案) 答申について (3) 今期審議会の振り返りについて
公開の 可否	会 議	公 開 傍聴人数1人
	会 議 録	公 開
出席者	委 員	遠藤亘、奥田晃久、神山裕美、小林ひろみ、近藤友克、佐伯晴子、佐野功、佐野雅昭、副島由理、高田靖、高橋紀子、田中治、田中英樹、田中真理子、田中悠美子、土屋淳郎、外山克己、中澤まさゆき、中島修、樋口友久、松下創一郎、宮崎牧子(敬称略)
	幹 事	福祉総務課長(総合高齢社会対策推進室長兼務)、自立促進担当課長、高齢者福祉課長、障害福祉課長、障害福祉サービス担当課長、生活福祉課長、西部生活福祉課長、介護保険課長、地域保健課長、生活衛生課長、健康推進課長、長崎健康相談所長、企画課長、子ども若者課長、子育て支援課長、児童相談課長、子ども家庭支援センター所長、住宅課長
	そ の 他	社会福祉協議会共生社会課長
	事 務 局	福祉総務課計画係長、福祉総務課主事(計画)

<開 会>

会 長： ただいまから第7回の保健福祉審議会、開会します。

本日はオンラインと対面を組合せた形で行います。発言する際は挙手をしていただき、指名しましたら、名のついでにいただいた上で発言をお願いします。

なお、本日は今期最後の審議会となります。会の途中で区長への答申を予定していますので、会の進行にご協力をお願いします。

それでは、事務局より、委員の出欠状況について説明をお願いします。

事務局： （出欠者、説明）

会 長： 引き続き、本日の傍聴者について説明をお願いします。

事務局： 本日1名の申込みがございます。傍聴者の入室について、お諮り願います。

会 長： 傍聴者の入室について、皆様、よろしいでしょうか。

（一同、承諾）

会 長： 許可が出ましたので、入室をお願いします。

（傍聴者入室）

会 長： それでは、事務局から、本日の資料について説明をお願いします。

事務局： （会議資料の確認）

<議 事>

（1）パブリックコメント結果の報告及び計画素案の見直しについて

会 長： それでは、議事に入ります。事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料2～4の説明）

会 長： 委員の皆様には資料を事前送付していただいた意見と、パブリックコメントの意見が反映された計画になっており、また、事例なども分かりやすく書かれているかと思えます。皆さんから、何かご意見、ご質問等ございますか。

後ほど、委員の皆様から今期の感想をいただく機会がありますので、ご意見があればそちらでご発言いただければと思います。

ご意見ないようでしたら、区長がお見えですので、答申に移らせていただいでよろしいでしょうか。

（一同、承諾）

ありがとうございます。それでは、お願いします。

（2）豊島区地域保健福祉計画（案）答申について

事務局： これより、豊島区地域保健福祉計画（案）の区長答申を行います。

会 長： （答申文、読み上げ）

（諮問文・計画案の冊子手交）

区 長： ただいま田中会長より、ずっしりと重い答申を頂戴いたしました。

令和4年度に諮問をさせていただき、専門委員会6回、保健福祉審議会7回、計13回にわたり、本当に熱いご審議を重ねていただいたと所管から聞いております。今回の改定に当たり、田中会長、神山副会長をはじめ、多くの皆様にご尽力を賜りました。区議会議員の皆様、

保健医療機関の先生方、社会福祉分野の皆様、町会、民生委員・児童委員、高齢者クラブ、障害者団体、青少年育成委員、さらには区民の代表の皆様にお力をいただいております。区職員におきましても、これだけ多くの所管で臨んでおりまして、地域福祉という分野が、様々な分野にまたがっていることを痛感しております。

本計画の冒頭挨拶でも触れましたが、少子高齢化、共働き家庭の増加、核家族・単身化も増加し続けています。少子化がますます進んでいるという報道もございます。新型コロナウイルス感染症もあり、地域の中での孤立の問題も高まっています。本当に様々な課題があり、高齢者の孤独死の問題や児童虐待の問題もあります。日々の私たちの暮らし、日々の行政の業務において、皆様にご審議いただいた内容と関係ないことは一つもないと思っています。

このような難局を乗り越えていく中で、私は区長になりましてから、皆様と「つながっていく」ことを、豊島区政の根幹においております。「地域の方とつながる」、「いろんな支えていっしょの方とつながり合う」ということを重視して区政に取り組んでおります。

私は、様々な審議会で答申を受けますが、本審議会での答申を殊更重く受け止めております。先ほどの答申において「個人の尊厳が守られ、すべての人が地域とともに支え合い、心豊かに暮らせるまちを目指して、地域保健福祉の推進が図られることを期待します」という、非常に重いメッセージを受け止めさせていただきました。

本日は田中会長をはじめ、皆様のご尽力に改めて感謝申し上げますとともに、いただきました答申文、そして答申いただいた内容を全職員で受け止め、答申の内容を着実に実施できるように、しっかり頑張っていきたいという決意を申し上げます。

長期にわたり、様々なご意見を賜った全ての皆様感謝申し上げます。

会 長： ただいま高際区長から本当に力強いお言葉と決意を表明されました。まだまだ名残惜しい気もいたしますが、次の公務も控えているとのことですので、ここで、区長への答申は終わりたいと思います。

区 長： どうもありがとうございました。

(区長退室)

(3) 今期審議会の振り返りについて

会 長： それでは、次の議題に入ります。

今期審議会の振り返りについて、委員の皆様からご発言いただければと思います。

最初に私からも一言だけ話させていただきます。改めて出来上がった計画を見ると、非常にカラフルで明るいですね。すばらしい出来だと思えます。内容もずっしりとありますが、イラストやコラム、図など、いろいろ工夫して、かなり凝った内容になって、何とか100ページ未満で抑えています。また、概要版で、7ページのダイジェスト版を作っていますので、きちんと読み込ませていただきたいと思います。

それでは、順番でよろしくをお願いします。

委 員： 私自身、この会議に出始めたのは医師会の会長となった令和5年6月末以降なので、全てに参加したわけではないですが、出来上がったものを見て、医師会としても地域保健福祉に関する、きっちりした計画が出来たことを非常に喜ばしく思いますし、医師会の思うところは盛り込まれていると考えています。さらに、今後の方向性としても、重層的支援等も含め、書き込まれているので良いかと思えます。概要版も含め、今後はこれを我々専門職だけではなく、区民に伝えていくことが非常に大事かと思えますので、豊島区が考えていることが手広く伝わ

ってくれればよいなと感じています。

委員： 私はこの計画だけでなく介護保険事業計画や健康プランの策定にも関わらせていただきました。豊島区はこうした計画を立てるときに本当に一生懸命やっているないつも思っていますが、専門職や区民に知れ渡っていないと感じることが残念です。地域包括の圏域ごとに多職種連携の会議体があるので、そうした会議体で計画の話をしていただき、実際に計画を実行する現場の人たちにこの計画を理解してもらうことが重要だと思いますので、私もこの計画を広めるように頑張りたいと思います。

委員： 出来上がった計画を見ると、重層的支援体制整備事業が、区民にも伝わりそうな気がします。先日、地域医療連携推進会議の交流会にて、高齢者総合相談センターの方に、地域でどんな活動をしているかの講和をしていただきました。そのときに、区民に携わる、区民が関わる、区民が受けられる施策というのを区民が知ることがすごく大事だと感じましたので、この計画が活かされるように、我々も伝えていきたいと思います。

委員： 私の任務は、区民にこの計画があることを理解していただく勉強会を立ち上げることだと思っています。出前講座という形で開催したいと考えておりますので、本日出席の幹事の皆様にも応援いただきたいと思います。計画普及のための出前講座は、区民の税金からしかあり得ないわけなので、説明責任という意味でも、ぜひ区民に徹底した周知の機会をつくっていただきたいと思います。

委員： 普段は豊島社会福祉会会長として地域で活動しております。豊島区の一時保護所にも関わらせていただいておりますが、豊島区の一時保護所に入れず、他自治体の児童相談所が関わるケースもあるという事情を、住民にもっと分かってほしいこと、そして区がソーシャルワーカーの私たちともつながりながら、色々な形で地域活動が進んで行ってくれたらと思います。

委員： これまで医療機関でしか勤務したことがなく、保健福祉審議会というのものにも初めて参加させていただきました。この会を通して、今置かれている豊島区の現状などを多く考えさせられました。

豊島区に住み、今後も考えなくてはいけないことが多くあります。私ごとですが、3か月前に第三子も生まれ、妻も豊島区で起業を考えています。まだまだ、叶えたい夢もたくさんあります。日々夢を抱きながら、豊島区で夢が実現できるように取り組んでいきたいと思っています。

委員： 高齢者の立場で発言をさせていただき、今回のパブリックコメントでも意見を言わせていただきましたが、どの程度私の意見が理解されたかわからない部分があります。

高齢者クラブは、豊島区に住む高齢者が元気になることを目的に活動しています。そのため、介護になったり、フレイルになったりしないで豊島区に住み続けてほしいと考えています。この考えを踏まえ、区でもウォークアブルなまちづくりということで、歩いて楽しいことも大事だとは思いますが、住んでいて健康になれるまちづくりという観点で、計画が作られたらもっとよかったかなと思います。

また、少し細かい話ですが、いわゆる緩やかな見守り活動として、企業と連携した見守り活動や、高齢者クラブ自身も見守り活動を行っています。今後は、ICTを活用した見守り活動を早急に考え、実行するために、施策の中に盛り込んで欲しいと考えます。というのも、先日、私の知人が3日間倒れたまま放置された事例があり強く思っているところです。先般、高齢者クラブで高次区長との懇談会を行った際にも申し上げましたが、ぜひ見守りのICT化を進めてほしいということが、最後のお願いです。

委員： 今期、初めて参加しましたが、福祉は時代とともに複雑化してきていると思います。今回の審議会での計画策定過程で、事細かに様々な福祉に対することを見ることができ、民生委員としても、この福祉計画に基づいて、まだまだ勉強していきたいと思います。

委員： 改めて今回の計画案を拝見し、地域保健福祉の根幹は、やはり、人と社会のつながりを支えることで、それとともに相互に支え合える地域づくりが主だと思います。この計画に触れた区民の方々、関係者の皆さんも、同じ思いを抱いていただければ幸いです。また、自分ごとに考えていただけるきっかけにもしていただければと期待しています。

委員： 地域保健福祉計画を補完するアクションプランである健康プランの所管をしております。本審議会に参列いただいている三医師会の各会長や公募区民の方にも健康プランの委員としてご協力いただきました。健康プランも同じく6か年の計画です。健康プランの目標を達成していくことが、地域保健福祉計画の推進になっていくと考えておりますので、今後ともご協力、ご鞭撻をいただきたいと思います。

委員： 私は子ども分野の所管として、来年度、子ども・若者総合計画を策定すべく、準備を進めております。先ほど区長も申し上げたとおり、少子化の中で、日本が今「こどもまんなか社会」を目指して進めているところで、今回の計画にも、子どもというフレーズが前回よりも多く出ております。そして、地域全体で子どもを大切にする、子どもを守っていくという機運が高まっていると感じています。子どもは、大切にされて育つと子ども自身が優しくなってみんなに親切にする人間になります。ということで、将来の日本を思うときに、子どもを大切にすることからスタートしていくことが必要だと思います。

委員： 私もこども大綱に基づき、子ども中心の施策を練っているところですが、私自身も高齢者です。高齢者と若い子どもたちが一緒に笑顔で過ごし合う、そんなまちが自分の地域であってほしいと思いますし、それにはこの計画が具体化する一步を歩まれたのだと考えています。

先日、不凍液を飲まされて、幼児が亡くなるという痛ましい事件がありましたが、こうした子どもたち・家族は、決して行政だけで守れるわけではありません。家族を守るのは、ここにいる皆様をはじめ、高齢者も子どもも、そして社会人も一緒になって地域を支えていくことだと考えております。

委員： 素案を拝見しているときは読みづらいというか、一般の方には受け入れづらい書面だと思っていましたが、今日の案を拝見しますと、すごく読み進めやすい計画になっているかと思えます。

今回の審議会では、いろんな立場の方々のいろんなご意見を伺えて、私も勉強になりました。この計画を隅々まで読んで、いろいろ勉強しながら、地域の実情などを参考にしながら、議会での活動に活かしたいと思います。

委員： 本計画策定に当たり、本当に様々な意見、議論がなされたと思います。その中でも課題等があった場面もあったかと思いますが、その多くの課題等についても盛り込んだ計画になったと私も考えています。この中で、地域の方々と、地域の活動団体等との協力、連携が本当に改めて重要だと感じました。また本計画にも、地域とともに支え合うことが、今後の本区においての支援体制作りにつながっていくと改めて感じました。今後とも、この計画を区民の皆様に広げていくことが大事な活動だと考えております。今後の議会活動においても、しっかりと進めさせていただきます。

委員： 私も改選があったので、実際に参加したのは令和5年9月からで、参加回数は少なかったの

ですが、それでも皆さんの率直な意見等を伺い、勉強になりました。

この計画を推進していくことは、地域にとってとても大事だと感じています。その一方で、福祉現場の人材不足は大変深刻で、介護保険でも、医療でも、報酬が下がるという中で、事業者がちゃんとケアをできる体制を整えることは、本当に困難だと思っております。

豊島区では、福祉分野、子ども分野でも、来年度職員数を増やしたことは評価しております。「地域で、皆さんでやってください」ではなくて、職員の皆さんも頑張っ、専門家あるいは地域のキーマンとして職務を行っていただきたいと思ひます。

計画ができて終わりではなく、これがうまく実行されるようにやっていきたいと思ひます。

委員： この地域保健福祉計画がさらにパワーアップした形で、すばらしい完成度のものができたという印象です。

豊島区は一人暮らし高齢者が多く、昔から地域保健福祉計画は支え合いをキーワードにして、アウトリーチで、地域の主体と、互いに連携・協力しながら、一人暮らし高齢者を守っていくスタンスの制度設計をされてきたかと思ひます。ただ、2040年問題と言われるように、地域福祉サービスを進める担い手が非常に不足しています。2040年に介護人材は約70万人不足するだろうと推定されており、国も人材の育成確保に躍起になっています。

そうした背景がある中で、今回の計画では、保健福祉人材の確保育成とサービスの質の確保向上ということに、非常に厚みを持った施策を盛り込んでいただいたことは、介護業界の人間としてうれしい限りです。この計画を着実に進めていただくことを願ひします。

委員： 私も前任から引き継ぎ、この地域保健福祉計画には初めて参加しました。まだまだ勉強不足で、勉強しながら計画に参加したという感想です。私の専門分野は障害福祉分野ですので、この計画にも、多様な働き方とか、包括的な相談支援、権利擁護の問題、答申にある、障害者を含めて全ての方が地域とともに支え合っ心豊かに暮らせるまちづくりを目指すとあります。この目標のもとに、我々も地域支援協議会という協議体があり、その下に、就労部会、相談支援部会があります。この計画を実行に移すために、地域支援協議会と連動し、実際に計画を進めていく役割をぜひ担いたいと思ひます。

委員： 毎回この審議会や専門委員会で、多くのことを学ばせていただきました。このカラフルなデザインの概要版と計画を見ると、改めて豊島区の様々な団体や情報が充実していることが可視化されたと感じます。重層的体制支援体制整備事業といった難しい言葉も、金太郎あめのように全国同じような表現ではなく、豊島区ならではの表現をどのようにするかと審議会の中で議論してきたことが思い出されます。

私は、大学で非常勤講師をさせていただいております。この計画の施策が、子どもや若者が、悩んでいたり困ってたりするときに話してみようかなと思えるきっかけになっていくように、今後もこの計画を広めていきたいと思ひます。

委員： 東京都や全国の研修を担当させていただいており、その中で、豊島区を取組を話すことが増えてきたと感じています。豊島区が先進的な取組をしていることは言うまでもなく、単身高齢者が非常に多い、単身世帯が多い、外国人比率が多いといった、豊島区の構造的な先進性があるため、先進的に東京都や全国の自治体のモデルになりやすいという構造もあると思ひます。

今日は社会福祉士と精神保健福祉の国家試験の合格発表日でした。福祉系大学はどこの大学でも大騒ぎだったと思ひますが、学科長をしており、なかなか抜けられず遅くなりました。

先ほど人材の話もありましたが、地方福祉人材センターの作業部会長をやっており、人材確保は本当に大きなテーマになっています。有料職業紹介所が何十万円もお金を取って、一人の職員をやっと確保する施設がある中で、どうしていったらいいかを、今厚労省などと議論しているところですが、豊島区の計画には、人材確保の話が入っていることも、大変すばらしいと思います。コミュニティソーシャルワーカーの実践的な配置や重層的支援体制整備事業、行政の仕組み、そして人材を確保していくと、本当に重要な要素が詰まった計画が作られていると思います。しかも、非常に分かりやすく作られているなと思います。

最近の実施計画は難し過ぎて分かりにくい、住民から距離があると言われがちですが、本当に工夫されたすばらしい計画ができたと思います。これからも豊島区に関わらせていただけたらと思います。

委員： この第6期の計画策定に当たり、会長から、豊島区の特徴をどう盛り込むかというお話がありましたので、常に豊島区の特徴はどんなところにあるのかと考えながら取り組んでまいりました。いざできてみたら、とても分かりやすい内容になっておりました。

本日机上で、イラストや、カラーがついていることによって、一層分かりやすいものになったので、今後、この計画を活用しながら、答申の一番重要な、「心豊かに暮らせるまち」になるように、学生とともに実践もしていきたいと思います。

副会長： 他の委員からもありましたように、豊島区はこの重層的支援体制整備事業に当たるものを、平成21年から、コミュニティソーシャルワーカーを配置しながら進めてまいりました。ですから、この制度ができたとき、まさに豊島区がやってきたことを全国に普及させる施策であると受け止めておりました。

今回の計画では、この重層的支援体制整備事業をこの地域保健福祉計画に入れ込むということで、行政の各課を横につなぐことを、計画を作りながら調整されてきたのかと思います。そのプロセスは私たちの見えないところで、福祉総務課をはじめ、いろいろとご苦労をされ、調整をされながら、縦割り行政を横につなぐことを作り上げたのではないかと思います。その大変な作業を経て、計画として目に見える形で表示されたことは、また新しいスタートを切る上でとても貴重な出発点になるかと思います。

これまで、この計画の策定過程や、前回の計画も含め、大学の講義で、地域福祉論の教材としても使わせていただきました。以前、本審議会の会長をやられていた大橋先生が、この計画を勉強すれば、地域福祉論の大半を学べるとおっしゃっていましたが、実際そのとおりで実感しました。学生も丁寧に読み込んで、学生なりに質問も出させていただきましたが、それも反映されたところもあり、学生にとっても励みになったのではないかと思います。

今後は縦割りを横につなぐことを実際に行っていくわけですが、一言で言うと簡単ですが、実際の場面では、いろいろな大変な場面が出てくるのではないかと思いますので、またこれから新たなスタートになると思います。そして、住民の方々がこの地域共生社会を、住民に丸投げの施策ではなく、行政と住民がともに協力しながら、地域をつくっていくことを実感できるように、これからは行政の方々に、オール豊島で進めていただければと思います。先ほど、区長からも、その意識がひしひしと伝わってまいりましたので、これからも期待しています。そして、行政の方々のやる気と気持ちが住民の方々にも伝わり、また新しい住民活動が広がり、住民の参加や協力が専門職の人材不足という課題を少しでも補えるようになるのではないかと思います。それはまた新しいチャレンジになっていくかと思いますので、ま

た引き続き一緒に取り組んでいければと思います。

会 長： まずは地域保健福祉計画、社会福祉法上、地域福祉計画と言いますが、法律的な位置づけでは義務ではなく努力義務に位置付けられています。しかし、義務ではないが責務であるというのが共通の認識になっています。ですから、義務よりももしかしたら精神性は非常に高いもので、そこが肝腎だと思います。

豊島区では審議会を、平成21年に条例制定し、区議会議員の皆さんなどにも参加いただいて、審議していくこととなりました。この第6期は2年間で、審議会としては7回、専門委員会が6回と記憶しております。以前は、専門委員会での議論は白熱してやっておりましたが、行政側と研究者側が対立しているわけではなくて、真剣に、対等に議論し合った経過があります。今回、コロナ感染症の影響もあって、少し遠慮してしまったところもあって、計画をじっくり徹底して議論する時間が持てなかったのは少し残念な思いがあります。しかし、多くの委員が話したように、豊島区らしさはきちんと盛り込めたかなというのと、25のコラムが入っていて、これを丁寧に読んでいるだけでも1冊の小説を読むような楽しさが湧き起こってきます。

次に、28人の委員が参加されていますが、私はもう少し委員数を増やしてもいいかと考えています。条例上の定数が28人となっていますが、あと2、3人増やしてほしいという気持ちも実はあります。やはりいろんな人に参加していただき、この審議会には、さらにしっかりと、保健福祉行政の機関車のような役割を果たしてほしいと思っています。私としては、平成21年から、豊島区に関わっていますが、今は札幌市に移住し、去年の4月からほぼ1年、札幌から参加しています。次年度については、ぜひ本日参加されている5人の学識経験者の委員から、次期会長に就任いただいて、豊島区がこれからさらに発展するという未来、計画は未来図ですから、未来の羅針盤ですから、これに基づいてさらに皆さんの参加を得て、議論を深めてほしいと思っています。

議事進行に戻らせていただきますが、本日予定されていた議事案件は以上となりますので、事務局から、事務連絡をお願いします。

事務局： （事務連絡）

会 長： それでは、今期の審議会は、これをもって閉会いたします。ありがとうございました。

提出された資料等	<p>【事前送付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・豊島区保健福祉審議会委員名簿 ・【資料1】令和4・5年度豊島区保健福祉審議会スケジュール ・【資料2】第6期豊島区地域保健福祉計画（素案）に対するパブリックコメント実施結果 ・【資料3】第6期豊島区地域保健福祉計画（案） ・【資料4】第6回豊島区地域保健福祉計画概要版（案） ・【資料5】第6回豊島区保健福祉審議会（R5.11.10開催）における委員からの意見・質問一覧
----------	---